

新市建設計画6つのポイント



1 自然共生型のまちづくり

新市のエリアは、海と山、母なる川「胎内」の水系を全てカバーすることから、清流が育んだ豊かな自然、深い歴史を中心とした一体的なまちづくりが可能となります。他にない特徴的な自然や歴史を産業、交流に活かし、住む人にやさしく、訪れる人に潤いを提供する「自然共生型」のまちづくりを進めます。



2 4つの基本的な施策体系

住民アンケートをもとに、新市建設の基本目標を「教育・文化」、「住民生活」、「産業・交流」、「行政」の4つの体系に分類しました。これまで両町村が進めてきた地域づくりの理念を継承するとともに、積極的に新しい事業を盛り込むことで、住民生活に密着した施策と新市の将来目標を実現するための施策を同時に展開します。



3 住む人、訪れる人に魅力的なゾーン形成

この地域には、豊かな自然、優良な農地、保養・観光施設などが、コンパクトでありながら、バランスよくそろっています。特に「日本海～胎内川～飯豊山系」と結ぶことのできるゾーンは、観光・レクリエーション施設を機能的にリンクさせることで、住む人、訪れる人に「リラックスといやし」を提供する魅力的な場となるでしょう。



4 地域間交流で産業の活性化を目指す

自然や歴史をテーマにしたイベントや農村滞在型の新しい観光スタイルをPRしながら、観光事業と他産業との連携、官民一体となった地域活性化を推進します。地域の特性を活かした観光事業や地域間交流による集客、特産品の開発などは地域に活力を与え、ひいては雇用促進や定住促進、高齢者の生きがい対策に結び付くものと考えています。



5 快適で、安心安全を創造する新市事業

両町村の懸案事業であった、防災無線、学校統合、地区保健センター、総合体育館などは「合併特例債」を活用して建設されます。そのほかにも計画に基づき、農産物加工施設、奥山荘城館遺跡・歴史公園等の整備のほか、両町村が速やかに一体性を確立し、快適な生活を約束するため道路・歩道・消雪パイプ・下水道などの基盤整備も盛り込まれています。



6 新しい行政スタイルを追求する

合併のメリットでもある効率化を図るため、職員を年次的に削減するとともに、市域全体に均等で良質な行政サービスを提供できるよう組織の編成や公共施設の整備、情報システムの導入を行います。また計画された施策・事業を円滑に実施するため、専門部署の設置や専門職を配置するとともに、NPOやボランティアとの連携をしながら、住民参加型の行政を推進します。



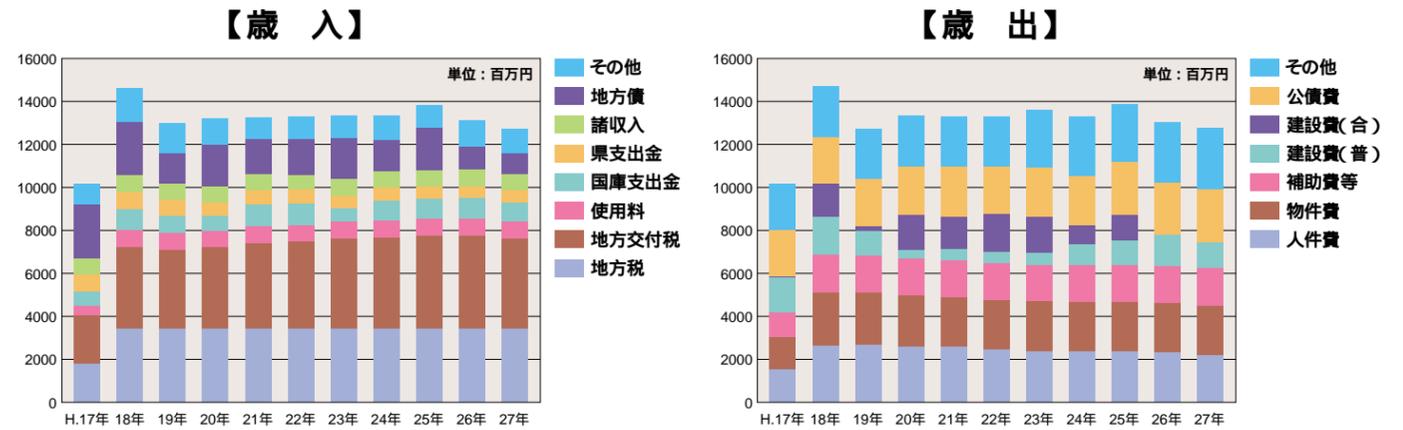
新市の財政計画

新市の平成17年度から平成27年度の財政計画は、歳入・歳出の科目ごとに過去の実績、経済情勢等を推計するとともに、新市建設計画に盛り込まれた新市事業の実施とそれに伴う地方債・公債費などの変動要因を加味しながら、作成されています。

この計画を一定の指針としながら、年度ごとに更に検討を加え、堅実な財政運営を目指し、予算を調整していきます。



平成17年度から平成27年度の新市財政計画



平成17年度は、合併後の9月から3月までとして作成。
建設費の(合)は合併特例事業、(普)は普通建設事業。

用語解説



新市財政計画

地方公共団体の歳入歳入総額の見込額。市町村合併特例法で新市建設計画中に策定が定められており、10年程度の期間について作成される。

地方交付税

地方公共団体間の税源の不均衡による財政力の格差を、国が調整するために設けられている。地方の自主的な判断で使用できる一般財源。

国庫支出金

補助金・交付金・負担金・補給金などさまざまな名称で、国が地方公共団体へ交付する。地方交付税とは異なり、用途が特定されている場合が多い。

地方債

地方公共団体が必要な財源を調達するために発行する公債のこと。1会計年度を越えて行う借入れ。

使用料

公の施設の利用、行政財産の目的外使用について、地方公共団体が利用者から徴収する金銭をいう。

公債費

地方債の元利償還費と一時借入れ金の利息の合計。人件費、扶助費とともに、義務的な経費のひとつ。

合併特例事業

合併に対する国の財政措置で、新市建設計画に位置付けられた事業で「合併特例債」を充当する事業。元利償還金の70%が交付税措置される。

新市建設計画 / 概要版

「新市建設計画」は、市町村の合併の特例に関する法律に基づき、新市建設の基本的方針等を定めるため作成するものです。詳しくは、「合併協議報告書」をご覧ください。

中条町・黒川村合併協議会事務局 〒959-2693 新潟県北蒲原郡中条町新和町2番10号 中条町役場庁舎4階
TEL:0254-43-6327 FAX:0254-43-6328

http://www.town.nakajo.niigata.jp/gappei/ E-mail hokubugo@iplus.jp

